

ちゅういっぷぐみだより



2023年度 3月号

尚徳福祉会 おぐら保育園

日に日に寒さが和らぎ、今年は駆け足で春がやってきそうですね。園庭ではおいかけっこや木登り、ごっこ遊びや基地づくりなど、子どもたちの遊びが段々と活動的になり、季節の移り変わりを全身で感じているようです。

4月からの保育を振り返ると、子どもたちは、遠足、運動会、成長発表会などさまざまな行事を経験するたびに自信をつけ、自分でできる事が増えて、友だちとの関係を広げながら相手を思いやる気持ちや憧れ心が芽生え、心も体も大きく成長しました。今年度も残りわずかですが、体調に気をつけて楽しい思い出をたくさん作りたと思います。



鬼は外、福は内

子どもたちは読み聞かせが大好き！！成長とともに長いお話も楽しめるようになりました。お話の内容があそびに発展することもあり、節分では“良い鬼”と“悪い鬼”や“怖い鬼”と“かわいい鬼”など、さまざまな鬼が登場する絵本や紙芝居に触れ、子どもたちにとって“鬼”は魅力的な存在になったようです。そんな鬼が主役の節分の会では、豆に見立てたカラーボールを鬼の的へ投げて大盛り上がり子どもたち。鬼退治?!をした後は、ポーロのおやつを食べて大満足でした。

できたよ♡

ひなまつり制作では、ハサミ、折り紙、のり、ペンを使う、たくさんの工程にも関わらず集中して作品を完成させていました。また、お雛さまとお内裏さまの顔は、目鼻口だけでなく、眉毛やまつ毛、ほっぺなども描く子や、男女を描き分けるなど、表現力が豊かになり、一人一人が自由な発想で楽しみながら制作に取り組む姿に成長を感じました。

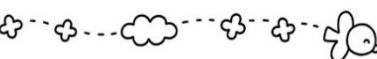
楽し〜い！！

室内での活動が多くなりがちな冬でも、全身を動かして遊べるように、ホールで巧技台やはしご、平均台などでサーキットを作って元気に遊びました。

年長組が加わると、お兄さん、お姉さんの真似をしようとして子どもたちの遊びが進化し、ドキドキワクワクしながら挑戦する姿が見られました。「先生、見て〜！」「楽し〜い！！」の声が多く聞かれ、達成感や満足感を感じているようでした。

雪やこんこん♪

その日は、朝から雪の予報に子どもたちは外を眺めては、ソワソワ…やがて、白いものがチラチラし始めると「雪だ〜！！」と大喜び。みんなで外へ出て、つかの間の雪に触れました。翌日は、積もった雪に触ったり、足跡をつけたりしながら「冷た〜い！！」「食べてもいい？」などといい、雪あそびを楽しみました。



保育へのご理解、ご協力を
ありがとうございました

